

# 第1学年 生活科学習指導案

指導者  
教諭

小学校

## 単元名 「すごいぞミッケ！ぼく・わたしのかぞく」

### 4. こんな子どもに

- 自分と家族のかかわりに関心を持ち、家族のよさに気付き、自分でできそうなことを進んで行うことができる。 【関心・意欲・態度】
- 家族のことや自分でできることを考え、自分が実践したことを表現することができる。 【思考・表現】
- 家族とのかかわりを通して、家族の温かさや大切さ、自分の役割について気付き、意欲と自信をもって生活することができる。 【気付き】

### 2. こんな教材で

本単元は内容(2)「家庭生活を支えている家族のことや自分できることなどについて考え、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気をつけて生活することができるようにする」を軸にして、家庭生活の中の仕事に目を向けさせ、家族とのふれ合いを中心に活動を展開したものである。子どもが、家族のこと、家族とともにしていること、家族にしてもらっていることなど自分の家庭生活を見つめ直し、自分自身のことや家庭における役割など自分でできることを進んで行うようになることを目指している。

家庭は、子どもたちにとって生活の場であり、自分を支えてくれるところである。しかし、子どもたちは、あまりに身近すぎて、家族の一人一人が家庭生活を支えていることや自分の役割について意識しないで生活をしていることが多い。

そこで、子どもたちが、家族とともにしていることや家族にしてもらっていることを振り返る中で、家族・家庭の温かさを実感し、家族一人一人のよさに気付かせたい。また、自分のことは自分でやり、さらに家族の中で自分はどんなことができるだろうと考え、それを自分の役割ととらえ生活に生かそうとする意欲をもたせるうえで価値ある単元と考える。

### 3. こんな支援で

ひろげる

- にここ大作戦で、家族に感謝の気持ちを伝えたり、家族からの賞賛をもらったりすることで、家庭生活の楽しさや大切さを感じさせる。
- これまでの活動をプリントや家族の自分へ対する思いから振り返り、自分の成長(継続的な取り組み・家族の実感等)に気付かせ、家族の一員としてのこれからの家庭生活を考えさせる。

ふかめる

- 家庭での仕事の実践を継続させ、「おしごとチャレンジカード」を活用し、保護者・教師のコメントでの価値付けを行うことで、仕事をしている達成感をもたせる。
- 「まかせてあんしんほうこくかい」をすることで、これまでの活動を振り返り、出来なかったことができるようになったこと、保護者のコメントから家族の役に立ったことを気付かせ、その気付きを共有化させる。

つかむ

- 上靴を洗う共通実践を通して、家族にしてもらっていることが、自分でもできること自覚させ、他にもできることはないか目を向けさせる。
- 家庭で実践する仕事を決める際に模擬体験とGTからのアドバイスをもらうことで、家庭での目的を持った活動を考えさせ、仕事をする事への意欲をもたせる。

### 1. こんな子どもだから

- 夏休みの間に自分の仕事を決めて、続けて取り組むことが出来た。また、1年生になり自分の仕事として任せられている児童も数人いる。基本的な生活習慣も2学期から、自分で取り組んでいる姿も見られる。 【関心・意欲・態度】
- 自分の身近な「もの・人・こと」に興味をもち積極的に関わる中で、自分たちが体験したことやその中で、考えたことなどを絵や言葉で表現できるようになってきた。 【思考・表現】
- 夏休みの課題として、家族の一員として意識をもたせるために「できる仕事」を決めさせ取り組みさせた。食事の準備や風呂掃除に挑戦したり、規則正しい生活を送るよう努力をしたりしてきた。それは、頑張った自分を意識しただけで、自分が家族の一員として家族のためにできることをしようと気付いて取り組むまでにはいたってない。 【気付き】

5. 学習活動計画（全14時間）

学習活動と内容	評価規準	重点指導事項
<p>1. じぶんのうわぐつをあらおう。②</p> <p>(1) 上靴を洗い、全体交流をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動後の感想の交流</li> <li>・継続している子どもの理由を交流する。</li> <li>・家の仕事に目を向け、他にも仕事があるのではないかと考えさせた事を交流する。</li> </ul>	<p>○上靴を洗う体験を通して、家庭での仕事や自分の仕事について考えている。</p>	<p>○今までしてもらっていた仕事ができることに気付く。</p>
<p>2. おうちのなかのしごとをしらべてはっぴょうしよう。①</p> <p>(1) 調べたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族が行っている仕事</li> <li>・家族と協力をして行っている仕事</li> <li>・家庭で自分自身で行っている仕事</li> </ul>	<p>○家庭で調べたことを発表し、仕事の内容・量・役割について気付いている。</p>	<p>○家庭内には、たくさん仕事があり、分担や家族の仕事が多いことを実感する。</p>
<p>3. じぶんがするしごとをかんがえよう。②</p> <p>(1) 家の中で自分ができる仕事を考える。</p> <p>(2) 模擬体験し、実践の仕事を決める。(本時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・興味関心をもった仕事選択する。</li> <li>・これまで経験した仕事を選択する。</li> <li>・家族のことを考え仕事を選択する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">各家庭で実践する</p>	<p>○調べたことや友だちの発表で、できる仕事を考えている。</p> <p>○家庭の仕事を模擬体験することで、自分の生活と結びつけて仕事を決めている。</p>	<p>○継続的に自分で取り組める仕事を選ぶ。</p> <p>○具体的な活動を通して、選択の理由をはっきりさせ意思決定する。</p>
<p>3. ほうこくかいをしよう。(中間報告会)②</p> <p>(1) 報告会の準備し、報告会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちに伝える表現方法を決め準備</li> <li>・同じ仕事のグループで報告会をし、お互いに認めたり、アドバイスをしあったりする。</li> </ul> <p style="text-align: center;">各家庭で実践する</p>	<p>○友だちに分かりやすい方法で準備をし、自分が家で実践したことを多様な方法で表現している。</p>	<p>○具体物を活用して報告する。</p> <p>○困ったことの解決や家族のアドバイスを確認する。</p>
<p>4. まかせてあんしんほうこくかいをしよう③</p> <p>(1) 報告会の準備をする。</p> <p>(2) 報告会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの表現方法で発表する。</li> <li>・友だちの頑張りを認める交流活動する。</li> <li>・家族からの手紙を読む。</li> </ul>	<p>○どんな方法で報告をするか考え、実践したことを動作や絵、写真を使って友だちに分かりやすく話している。</p>	<p>○家族の気持ちや仕事をした時の喜びを中心に発表する。</p>
<p>5. にこにこ大きくせんをしよう。③</p> <p>(1) にこにこ大作戦の内容を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族と一緒に楽しく過ごす企画(ゲーム・作成・読み聞かせ等)</li> </ul> <p>(2) お互いに見せ合い、練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見せ合いアドバイスをしあう。</li> </ul> <p style="text-align: center;">各家庭で実践する</p>	<p>○家族と楽しい時間を過ごすにはどうしたらいいかを考え、家庭で実践できるように友だちに見せたり、お互いにアドバイスをしあったりしている。</p>	<p>○家族との団らん、家族で過ごす楽しみなどから選択する。</p>
<p>6. これまでのかつどうをふりかえろう。①</p> <p>(1) にこにこ大作戦の報告をし、これからの家庭生活を考える。</p> <p>ぼくは、おかあさんがこしがいたいので、おうちのおふろそうじをつづけてがんばりました。きゅきゅとおとがするようになりがきました。おうちのひとが「きもちよかったです。」とよるこんでくれました。ほかのしごとみつけてがんばりたいです。まいしゅう。上ぐつをじぶんであらいます。</p>	<p>○これまでの活動を振り返って、家族のいいところや自分の頑張った事に気付く、これからの家庭生活について考えている。</p>	<p>○プリントや保護者からの手紙等から、自分の変容に気付く。</p>

## 6. 本時指導案

(1) 単元名 「すごいぞミッケ!ぼく・わたしのかぞく」 本時 ( 5/14 )

### (2) 本時目標

- 模擬体験を通してアドバイスをもらい, 交流活動でそれぞれの仕事を選択した理由から, 家庭で実践する仕事に対して, 自分の理由をもって決定することができる。(思考・表現)

### (3) 本時指導の考え方

#### 目指す子ども像

ぼくは, おうちのしごとをしらべて, おふろそうじをしようとおもいました。きょう, おふろそうじのれんしゅうをしたときに, ○○ちゃんのおかあさんに, すみっこもきれいにするといいよとおしえてもらいました。  
びかびかにしたいです。

#### 本時仮説

子どもたちが家族の仕事に目を向け, 仕事をしたいという思いをもてるようにするために,  
①家庭で実践する仕事が模擬体験できる体験活動の場の設定とゲストティチャーの活用  
②模擬体験をしたことを表現する交流活動の場の設定  
を行えば, 家族のことを考え仕事に取り組むことができるであろう。

### 手立て1 家庭で実践する仕事が模擬体験できる体験活動の場の設定とゲストティチャーの活用

事前に自分が実践する仕事の仕方を調べたり, 家の人を観察したりさせ, 模擬体験に見通しをもたせるようにする。また, 調べたことで, 友だちに教えたり, 分からないところを聞いたり, ゲストティチャーのアドバイスをもらったりすることができ, 家での実践に向けて意欲が向上すると考えられる。

子どもたちにとって実践する前に, 模擬体験をすることは,

- ①家での実践にあたって, 見通しをもつことができる。
- ②家の中の気持ちになって考えることができる。
- ③友だちやGTにアドバイスをもらうことで, 教え合ったり, 解決したりすることで仕事の方法が分かり自信をもつことができる。

このように, 模擬体験をすることで, 家での実践に見通しをもち, 意欲的に実践ができると考える。

また, 模擬体験中の子どもたちに

- ①分からないことを質問したり, 友だちに教えたりしている。
- ②対話から活動の感想を聞き, 価値付けを行う。

以上の2つの見取りの視点で見取っていくことで, 交流活動の中で, 意図的指名をしたり, 発言をつなげさせたりすることで, 家族のことを考えた理由につなげていきたい。

### 手立て2 模擬体験をしたことを表現する交流活動の場の設定

模擬体験後の交流活動を設定し, 意思決定の場を2回設ける。

- ① 自分の仕事の模擬体験をして, それぞれが思ったことを発表させ, 家庭で実践する仕事を再度考えさせる。
- ② 仕事を变えなかった理由や変えた理由を発表させ, 最終的な仕事の決定をさせる。

①では, 体験したことで, うまくできた所や難しかった所を発表させることで, 仕事の技能面に目を向けさせ, 仕事を選択させる。次に, ②では, 仕事を变更しなかった理由と変えた理由を問い返すことで, それぞれの思いや家族への思いに分けて引き出したい。このように, 2つのステップで子どもたちに仕事について考えさせ, 学習の流れや子どもたちの発言を板書で整理をすることで, 前時に決めた仕事と模擬体験後とを比べさせ, 最終的な仕事決定させていく。このことから, 子どもたちがそれぞれの願いや思いをもって家庭での仕事をどのように実践していけばいいか見通しをもつことができると考える。

(4) 板書計画

すごいぞミッケ! ぼく・わたしのかぞく **3** めあて いえでするしごとに ちゃれんじして,しごときめよう。

**1** たのしそつだから,はやたくしたいです。 ぼくは,玄関掃除をして,みんなが使いやすいです。

**2** <きょうのせいかつかの学しゅう>  
1きょうの学しゅうでをきく。  
2めあてをしる。  
3しごとのきめたしごとに ちゃれんじする。  
4みんなではなしあう。  
5「きょうのがくしゅうで」をかく。

**4** げんかんそうじ  
おふるそうじ  
しよつきあらい  
せんたくたたみ  
ごみすて  
しんぶんとり

**5** おうちでがんばります

**6**

(5) 展開

学習活動と内容	評価規準	重点指導事項
<p>1. 本時の流れとめあてを知る。 (1) 前時の「今日の学習でを発表する」…<b>①</b></p> <p>お家の中にはたくさん仕事がありました。ぼくは,お母さんは腰が悪いから,玄関掃除をしたいです。</p> <p>(2) 今日の学習の流れを知る。…<b>②</b> (3) めあてを知る。…<b>③</b></p>		<p>○家庭で実践する仕事を決める体験活動や交流活動を行うことを意識させる。</p>
<p>めあて いえでするしごとに ちゃれんじして,しごときめよう</p>		
<p>2. 自分が決めた仕事を体験する。…<b>④</b> (1) 仕事別グループで模擬体験をする。</p> <p>食器を洗うとお母さんが「助かるよ」といつも言うんだよ。</p> <p>3. 体験したことを全体交流で発表をする。 (1) 体験で思ったことを発表する。…<b>⑤</b></p> <p>たくさんの食器を早く洗うことができたよ。</p> <p>(2) 実践する仕事を決め,理由を発表する。…<b>⑥</b></p> <p>やっぱりおふる掃除をして,家族を喜ばせよう。 決められないから,お母さんにそうだんしてみよう。</p> <p>4. 今日の活動を振り返り「きょうのがくしゅうで」を書き,発表する。</p>	<p>○体験したことや交流活動を基に,自分のする仕事の理由をもって決めることができる。</p>	<p>○体験活動の中に声かけを行い,内面的なところを引き出す。</p> <p>○発言に対して価値付けを行うが,特に,家族に目を向けた発言を全体に広げる。</p> <p>○仕事決定の理由から,意欲を向上させたり,家族への意識をもたせたりする。</p> <p>○G Tから感想をもらうことで,意欲をさらに高めさせる。</p>

